



日常点検

Simon さんが教える 愛車を長持ちさせるための自己点検!!

プロの整備士による点検のほか、自分自身でも定期的に点検することが大切。
常に車をベストな状態に保つことで事故防止にもつながる。

BETTA BILT ENGINE FIT & AUTO SERVICE
Simon さん



日常、運転している時に水温計、エンジン音、ブレーキに異常がないか確認しましょう。これら以外にも、いつもと違うことに気がついたら、できるだけ早めに整備士に見てもらったほうがいいですね。

エンジンルーム内



ウォッシャータンク
(Washer Fluid Tank)

リザーバタンク
(Overflow Tank)

バッテリー
(Battery)

エンジン
(Engine)

ラジエーター
(Radiator)

イメージ：Holden Commodore V8 Ute 1992

定期的に点検する箇所

- タイヤ
- バッテリー
- ラジエーター
- ライト
- エンジンオイル
- 排気ガスの色
- ウォッシャータンク

点検の頻度

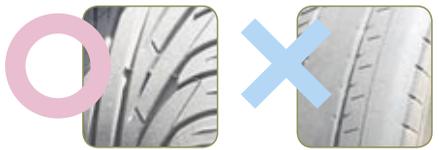
中古車は週 1 回がベスト。
新車も定期的な点検が望ましい。

注意すること

エンジンルーム内を点検するときは、正確な状態を調べるために必ず車が冷えた状態で行う。
また、これは火傷防止にもつながる。

タイヤ

タイヤの溝が減ると雨天時のスリップの原因になりえるので、溝が最低1.5mm 以上あることを確認。



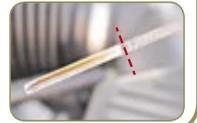
バッテリー

バッテリーは、エンジンの始動やワイパーやライトなど全ての電気に関係する箇所を動かす役割がある。バッテリー液が足りないや平常どおり動かない箇所が出てくるので、写真の点線くらいまであることを確認。



エンジンオイル

エンジンオイルは、高速で回転するエンジンからでの摩擦を防ぐ役割などがある。エンジンに差し込まれているオイルレベルゲージを引き抜き、布で拭き取った後、もう一回差し込み引き抜き、先端についたオイルが 'Full' の下 (写真) まであればOK。オイルの色が黒い場合はオイル交換の目安。



ラジエーター

エンジンが生み出す熱を冷却し、オーバーヒートを防ぐのがラジエーター。ラジエーターキャップ (ラジエーター上の金属のふた) を取り、中の冷却水 (クーラント) が満タンで色が緑か赤であること (写真) を確認。



リザーバタンク

タンク内の冷却水が、Minimum と Maximum の間 (中央がベスト) であることを確認。



ウォッシャータンク

車のフロントガラスをキレイにし、運転手の視覚をクリアにするウォッシャー液が入っている。タンクのキャップを取り、液量が十分かチェック。



車に常備しておいたほうが良いもの

- スペアタイヤ
- ジャッキ
- 道路地図
- 牽引用ロープ

旅行前に用意したほうが良いもの

- ガソリンの予備
- 20リットル位の水
- ファンベルトの予備